

- ・ 7区合同でイベントをやってみたらどうか。(例：ウォークラリー)
- ・ 区民会議という名称がイメージしづらいとの意見もあったが、区民会議フォーラムを実施する際には、ウォークラリーなど遊びの要素も取り入れて実施することが認知度向上につながるのではないか。
- ・ フォーラム等の開催といった区民への働きかけをする場合には、自分たちの意見がきちんと提言に活かされていくということを実感してもらえよう、区民会議の提言をまとめる「前の」段階で区民とのワークショップを開催するなど、区民会議委員や職員はタイミングを意識する必要がある。
- ・ 区民会議のイベントは単独で開催するよりも、健康診断等の機会を捉えて開催すると、集客効果があるため、認知度向上につながる。
- ・ 区民会議として地域のイベントに出席し、委員が挨拶してアピールすることも大事。

#### 【地域・市民とのつながり】

- ・ 市民の多くの方が興味を持つテーマに取り組み、発信することが必要である。(2件)
- ・ 団体等を活用して地域の情報を収集することが大事。(2件)
- ・ 上から降りてくる情報ではなく、横から流れてくる情報を区民会議ですくい上げる。「区民会議で相談するから問題を出して」という働きかけを続けることで、区民会議が身近になる。
- ・ 区内の各団体との関係性についても、区民会議委員として参加している代表者だけでなく、団体同士を横でつなげていくことも重要。
- ・ 区民を巻き込みながら取組を実施することで認知度向上につながる。区民会議の認知度の向上のために、具体的に事業を実行していくことが重要。(3件)
- ・ 多くの団体を巻き込んでいく。
- ・ 地域の女性と連携しながら実践していくことが重要である。そのための効果的な広報を考えていくことも大切である。
- ・ 町内会や民生委員など従来からある団体だけではなく、子育て世代や転入世帯など新しい層をターゲットに取組を広げていくことが効果的ではないか。例えば、防災マップづくりに子どもたちに参加してもらうなど。
- ・ 友人・知人に区民会議の取組をことある毎に伝える。その積み重ねで区民会議を身近に感じてもらえる。
- ・ 身近な問題をやることで成果が上がる。
- ・ コミュニティバスなど身近な課題を取り上げればよい。
- ・ 地元の中学生に役割を持たせると効果が上がる。(2件)
- ・ 災害時を機会にして子育て世代を中心に地域で連携する意識を高める(震災時には町会加入率が90%まで向上した)。
- ・ 3期、4期、5期と、取組を継続していくことが認知度の向上につながる。
- ・ 人と人とのつながりが大切である。区民会議委員の任期が終わっても、OBとして、やり残した課題に継続して取り組めるような仕組みができないか。
- ・ 区民会議委員、区民会議委員OB、各団体の3者のパートナーシップを継続して拡大していく。こうした絆が認知度の向上につながると思う。

#### 【その他】

- ・ 「イベントを実施する」「提言をまとめる」ということに囚われすぎずに、話し合うことを

大切にしていけば、少しずつ区民会議も定着していくのではないかと。

- ・区民会議の認知度の向上は重要。公募の応募者が多くて選考が大変だ、というくらいに集まるべきだ。
- ・公募委員を多くすれば認知度が高まる。(2件)
- ・各区分の認知度を継続的に調査していくことで、認知度が上がったところと下がったところが出てくると思うので、上がったところの取組を各区で情報共有すると効果があるのではないかと。

#### 4. その他

- ・区民会議がどういう役割を担っているのかを私自身も委員になるまでわからなかった。(3件)
- ・市民自治とは何かを最初に委員にきちんと伝えるべき。
- ・市長講話のまとめたものが欲しい。実行性を出していきたい。
- ・任期が1期2年間なので、「2年間という短期の中でできること、実現できること」という認識が強かったが、本日の市長講話を聴いて継続課題に取り組む重要性や必要性を認識した。
- ・具体的に事業を実施するとしても、既存の1つの団体では限界がある。参加者を公募することで仲間が増えることもある。
- ・推薦委員の中には町内会・自治会で活動されている方が多く、検討テーマも委員構成に影響を受ける。
- ・外国人は参加したいが、その仕方が分からない。組織がオープンな環境を作ってほしい。
- ・小中学生をターゲットに教育していくことで、大人にも伝えていくことが重要。(3件)
- ・災害の際には、高層マンションに高齢者が残される可能性がある。若者の力が必要。教育が大切だ。
- ・区長推薦の枠をうまく使ったことで、若い人の参加につながった例もある。
- ・区民会議委員に高齢の方が多いの、ある程度仕方がないこと。運営面でカバーすることもできる。
- ・議論が尽くされていないような感じのまま、次の課題に移ることがある。また、課題調査部会に入っていないと、自分の興味のある課題に取り組むことができない。
- ・全体会はメッセージを出す場、部会は議論をする場である。
- ・全体会では結論だけでなく、なぜそういう結論に達したのかを説明することが重要。
- ・市民アンケート結果などをきちんと調べて審議した方が良い。



7～10名の8つのグループに分かれ、和やかな雰囲気の中で意見交換が行われました。



会場には、自治基本条例を紹介するパネルが展示されました。

## 4 アンケート結果

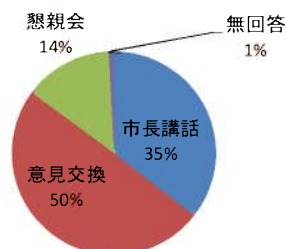
参加者数： 70名

回収件数： 69件

回収率： 98.5%

### 1. 本交流会は、どの企画に期待して来場されましたか。(複数回答可)

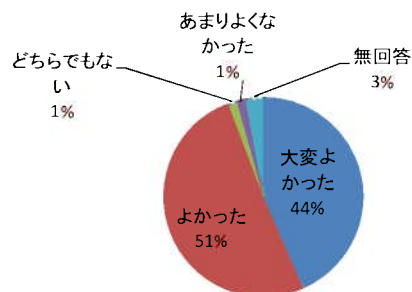
	(件)
市長講話	43
意見交換	60
懇親会	17
無回答	1
計	121



### 2. 区民会議交流会の企画についての感想をお聞かせください。

◆交流会（全体）（今回は交流をメインとした開催でしたが、いかがでしたか）

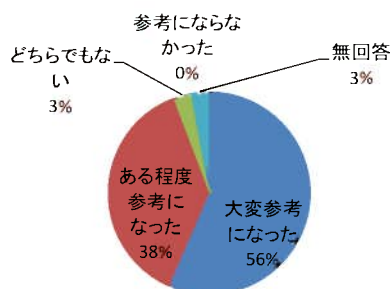
	(件)
大変よかった	30
よかった	35
どちらでもない	1
あまりよくなかった	1
無回答	2
計	69



◆市長講話（区民会議について）

(件)

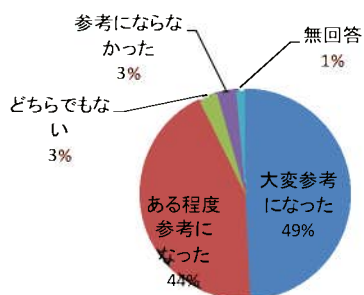
大変参考になった	39
ある程度参考になった	26
どちらでもない	2
参考にならなかった	0
無回答	2
計	69



◆意見交換（区民会議の認知度向上について）

(件)

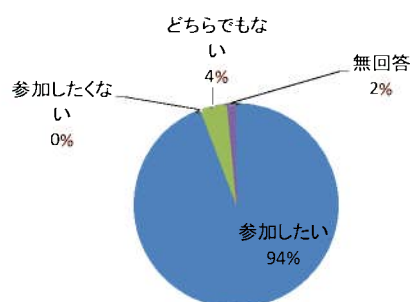
大変参考になった	34
ある程度参考になった	30
どちらでもない	2
参考にならなかった	2
無回答	1
計	69



◆来年以降、同じように意見交換を目的とした交流会が開催されたら参加したいですか。

(件)

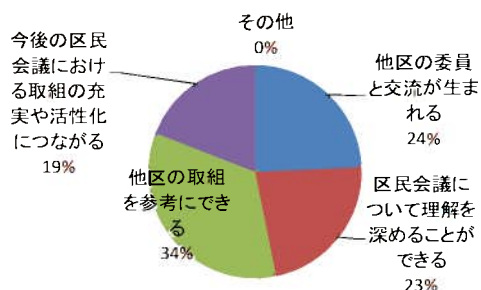
参加したい	65
参加したくない	0
どちらでもない	3
無回答	1
計	69



3. 今回の交流会にはどのような効果があると感じますか。(複数回答可)

(件)

他区の委員と交流が生まれる	42
区民会議について理解を深めることができる	39
他区の取組を参考にできる	59
今後の区民会議における取組の充実や活性化につながる	33
その他	0
計	173



4. 御意見・御感想などがございましたら、御自由に御記入ください。

(件)

自由意見	36
------	----

【交流会の内容について】

- ・ 実現に向けて取り組む事が認知度につながると思います。
- ・ 認知度向上の為、活動を地域のコミュニティー紙に載せてもらい少しは認知度が上がった。
- ・ 他区の例が参考となる。実行が肝要。
- ・ 同じような課題が共通理解できました。
- ・ 他の区の区民会議委員と交流をもててよかった。それぞれの動きが良く分かった。(2件)
- ・ 非常に短い時間でしたが他区の委員様より御意見を伺い大変参考になりました。
- ・ 新しい交流会の設定、小グループで具体的に話せてよかった。
- ・ 今後も交流会を行い参考にして会議を進めたい。

【開催時期・場所・時間等について】

- ・ 各団体毎に区民会議の報告をしてもらう。PRはまめにやる。派手でなくてよい。開催時期・場所・時間いずれもよい。
- ・ 意見交換は時間の関係で充分討議できたとはいかなかった。テーマ以外の話が多くなりがちであった。
- ・ 各委員の出身母体で話題が偏る傾向にある。他区の委員の人たちとの交流ができた意味は大きい。
- ・ 時間等丁寧良かったと思います。様々な取組みを伺えて良かったです。
- ・ テーマの本題に入る手前で意見交換が終わってしまいました。予め各委員自身のPRを含めて、自己紹介を書式で通知しておくとともに本題に入れたかと思います。

- ・ 司会者の問題もあり。
- ・ 意見交換の時間が短いので、十分な話し合いが出来なかった。残念！！（4件）

#### 【来年度以降の開催について意見】

- ・ 全般として良かったと思います。意見交換のテーマはもっと具体的なものが良いと思います。
- ・ 時間が短いと思いましたが、ぜひ今後も続けていただきたいです。ありがとうございました。
- ・ 継続的に更なる時間をとって開催した方がベター
- ・ 交換会の時間が少し少なかった。全体発表も1分ずつでもあるとよかった。時期的には今ごろが重ならない。
- ・ 今後もこのような機会を設けて頂きたいをお願いします。
- ・ 本日のようにお願い申し上げます。
- ・ 良い勉強が出来ました。ありがとうございました。今後もよろしくお願い致します。

#### 【その他】

- ・ 他区の活動内容に関する情報（区民会議ニュースなど）が共有されるよう事務局でご配慮ください。
- ・ 区民会議の位置付けが不明確です。議員の様に、市の名簿に氏名が載るなどしてはいかがでしょうか。
- ・ 市長さんの思いは良く理解でき、納得もできました。今回の交流会をベースに、更に各区の委員が交流し、区民会議の有効化、認知度向上につなげられるよう、交流会を企画・継続していただきたい。認知度向上を話し合う上で、基礎的な情報（かわさき市民アンケート結果など）は事前に共有化しておくのが良いと思う。
- ・ 市長の区民会議のあり方をうかがい、今まで？と思っていたことが理解できよかった。
- ・ 今期より区民会議に参加しています。区民会議の原点の市長講話、大変参考になりました。
- ・ 市長の話しを聞いて思いを改めた。このようなコンセプトを他のメンバーにも伝える必要がある。
- ・ 区によって会議の進行方法が違うのはビックリ（特に中原区）皆さん話し上手。わかりやすかった。
- ・ 自分が区民会議の一人であることと、何か出来そうな意欲がわきました。交流会は大切な時間であると思います。
- ・ 有意義な交流会でした。
- ・ 本日は懇親会へ参加できず残念です。もっと皆さんとお話がしたかったです。
- ・ ひと言では伝えられない。

## 5 参考資料

「区民会議交流会」の記事が、タウンニュース（中原区版・高津区版・多摩区版）に掲載され、当日の様子が紹介されました。



※中原区版（2月22日号）  
タウンニュースホームページ  
から抜粋  
※高津区版・多摩区版は、3月  
1日号に掲載されました。

### 7区の区民会議が交流

認知度向上を目的に

2013年2月22日号



各グループで意見を交換する

市内7区の区民会議委員約70人による「区民会議交流会」が2月14日、中原区役所で開催された。各区の委員が一堂に介するのは初めて。阿部孝夫市長や各区の区長も参加し、区民会議の認知度向上をテーマに意見交換を行った。

川崎市の区民会議は、暮らしやすい地域社会をつくることを目的に、区民が行政と協働し地域社会の課題解決を図るための調査審議をするもので、2006年4月に設置された。各区およそ20人の委員で構成され、2年に一度メンバーを入れ替えながら、介護や子育て、農産物、地域交流など各区の課題解決に向けて話し合ってきた。

今回、区民会議の認知度向上をテーマにしたのには、4期目に入ったものの、昨年の市民アンケートでは「認知度およそ20%」という結果がでたことがきっかけ。

まちづくりを行っていくうえで今後重要になっていく区民会議の認知度を高めて、より多くの市民に関心を深めてもらうことが狙いだ。

市は暮らしやすい地域社会を築くためのキーワードを「地方分権」としており、その補完的な機能を持つ区民会議を市民により知ってもらいたいと考え、各区で取り組んでいる情報発信やPR方法などの事例を出しながら、より確実に広く周知する方法を話し合った。

交流会では「人が集まる大きなイベントで活動を周知する必要がある」や「スムーズに確実に活動を周知するため、各委員が所属するそれぞれの活動団体に広めてもらうことが大事」といった意見がでていた。川崎市では「区民会議は一部の人や団体が活動しているというイメージではなく市民の皆が活動できるということを知ってもらいたい。市民に認知してもらうことでこの取り組みが活性化する」と話す。

また、阿部孝夫市長は、人口減少、高齢化に向けた予算縮小を見込んだ行政改革に触れ「右肩上がりの経済成長が見込めない中、地域の課題には市民の皆様が自分たちで取り組んでいくことが重要になる」と話した。

## 区民会議交流会次第

平成25年2月14日（木）  
18時00分～19時30分  
中原区役所5階会議室

- 1 開会の挨拶
  
- 2 市長講話  
～区民会議について～
  
- 3 7区委員の交流  
～区民会議の認知度向上について～
  
- 4 閉会の挨拶



区民会議交流会参加者名簿

グループ	席	区名	氏名	選出区分	推薦団体等	役職	懇親会出欠
1	1	川崎	寺尾 宇二	団体推薦	川崎商工会議所	委員長	○
	2	幸	酒井 清	団体推薦	幸区文化協会		○
	3	中原	板倉 徹	団体推薦	中原区まちづくり推進委員会	副委員長	○
	4	中原	成田 孝子	団体推薦	中原区子育てネットワーク		○
	5	中原	橋本 貞子	区長推薦	中原区町内会婦人部連絡協議会		○
	6	高津	林 孝行	団体推薦	高津区全町内会連合会		○
	7	宮前	宮崎 孝	団体推薦	宮前区商店街連合会	副委員長	○
	8	多摩	安倍 修司	団体推薦	多摩区商店街連合会		○
	9	麻生	山田 安之	団体推薦	地域教育会議	若者副会長	○
	10	麻生	高橋 庸之	公募	-		○
2	1	川崎	新井 とき子	団体推薦	川崎区安全・安心まちづくり推進協議会	副委員長	○
	2	川崎	岩瀬 絹代	公募	-		○
	3	幸	鈴木 忠夫	団体推薦	日吉商店街連合会		○
	4	中原	富岡 茂太郎	団体推薦	中原区民生委員児童委員協議会	副委員長	○
	5	中原	橋本 満昭	団体推薦	中原区市民健康の森を育てる会		○
	6	高津	森 幸男	団体推薦	高津区全町内会連合会		○
	7	宮前	大槻 幹雄	団体推薦	宮前区地域教育会議	部長	×
	8	多摩	国保 久光	団体推薦	川崎市医師会多摩区医師会		×
	9	麻生	菅原 敬子	区長推薦	-	委員長	○

区民会議交流会参加者名簿

グループ	席	区名	氏名	選出区分	推薦団体等	役職	懇親会出欠
3	1	川崎	石渡 勝朗 いしわた かつろう	団体推薦	川崎区保護司会	部長	○
	2	幸	鈴木 奈美枝 すずき なみえ	団体推薦	幸区保護司会		○
	3	幸	鈴木 都 すずき みやこ	公募	市民公募		○
	4	中原	青木 英光 あおき ひでみつ	団体推薦	川崎市中原区社会福祉協議会		○
	5	中原	藤嶋 とみ子 ふじしま とみこ	団体推薦	中原区文化協会		○
	6	高津	佐藤 忠 さとう ただし	区長推薦	-	委員長	○
	7	宮前	佐々木 良司 ささき りょうじ	公募	-	部長	○
	8	多摩	小塚 千津子 こづか ちづこ	団体推薦	多摩区こども総合支援連携会議		○
	9	麻生	石井 郁朗 いしい いくろう	区長推薦	-	副委員長 若者部長	○
4	1	川崎	小泉 忠之 こいずみ ただゆき	団体推薦	川崎区民生委員児童委員協議会		○
	2	幸	西野 恭一 にし の きょういち	団体推薦	幸区町内会連合会	委員長	○
	3	中原	石井 康昭 いしい やすあき	団体推薦	中原区町内会連絡協議会		○
	4	中原	塚本 りり つかもと りり	公募	-		○
	5	高津	吉田 豊 よしかた ゆたか	団体推薦	高津区全町内会連合会	副委員長	○
	6	宮前	平井 賢子 ひらい けんこ	団体推薦	宮前区安全・安心まちづくり推進協議会		○
	7	多摩	配島 裕美 はいじま ゆみ	団体推薦	多摩区地域教育会議		×
	8	多摩	本多 正典 ほんだ まさのり	公募	-		×
	9	麻生	金光 秀尚 かねみつ ひでお	区長推薦	-	企画 部長	○